

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2014-21165(P2014-21165A)

【公開日】平成26年2月3日(2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2012-156853(P2012-156853)

【国際特許分類】

G 02 B 7/04 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに係合するカム溝およびカムピンのいずれか一方を有し、光学部材を保持する保持部材と、

前記カム溝および前記カムピンの他方を有し、前記光学部材の光軸と平行な移動方向に前記保持部材を駆動する駆動部材と
を備え、

前記カム溝は、前記光軸に対して傾いた方向に延在する第一の区間と、前記第一の区間の端部に連通し、前記光軸と直交する方向に延在する第二の区間とを有するレンズ鏡筒。

【請求項2】

前記カム溝は、前記レンズ鏡筒が沈胴状態にある場合に前記第二の区間において前記カムピンと係合する請求項1に記載のレンズ鏡筒。

【請求項3】

前記光学部材と異なる他の光学部材を保持しつつ前記保持部材に対して固定される他の保持部材を更に備える請求項1または請求項2に記載のレンズ鏡筒。

【請求項4】

前記他の保持部材は、前記保持部材に対して前記光軸と平行な回転軸の廻りに回転される固定部材により前記保持部材に対して固定される請求項3に記載のレンズ鏡筒。

【請求項5】

前記保持部材は、前記保持部材が前記光軸の周りに回転することを規制する場合に係止する係止部を有する請求項4に記載のレンズ鏡筒。

【請求項6】

請求項1から請求項5までのいずれか一項に記載のレンズ鏡筒を備えた撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明の第一態様においては、互いに係合するカム溝およびカムピンのいずれか一方を

有し、光学部材を保持する保持部材と、カム溝およびカムピンの他方を有し、光学部材の光軸と平行な移動方向に保持部材を駆動する駆動部材とを備え、カム溝は、光軸に対して傾いた方向に延在する第一の区間と、第一の区間の端部に連通し、光軸と直交する方向に延在する第二の区間とを有するレンズ鏡筒が提供される。